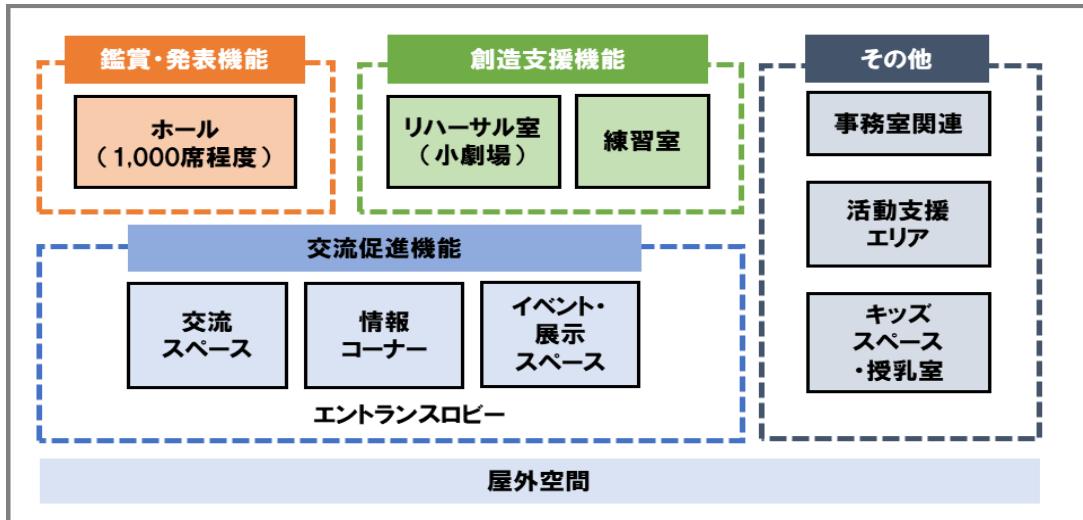


新たな文化施設基本計画（素案）に係る施設計画について

1 施設機能

新たな文化施設の施設機能を以下のように整理します。



【鑑賞・発表機能】

市民の舞台芸術の鑑賞・発表の場として、芸術性と専門性の高い公演に対応でき、多様な演目が可能なホールを整備します。

【創造支援機能】

市民の日常的な芸術文化活動を支える場として、練習室とリハーサル室を整備します。リハーサル室は、小規模の演劇公演等にも対応可能な舞台設備や控室を計画します。

【交流促進機能】

芸術文化による交流や賑わいを生み出す場として、市民の交流活動や多様なイベントが開催できる諸室やスペースを整備します。ホールや創造支援機能の諸室を利用しない市民や観光客も自由に利用可能な場とします。

【その他の機能】

施設全体の維持管理を行う管理事務室のほか、市民活動を支援する諸室や機能

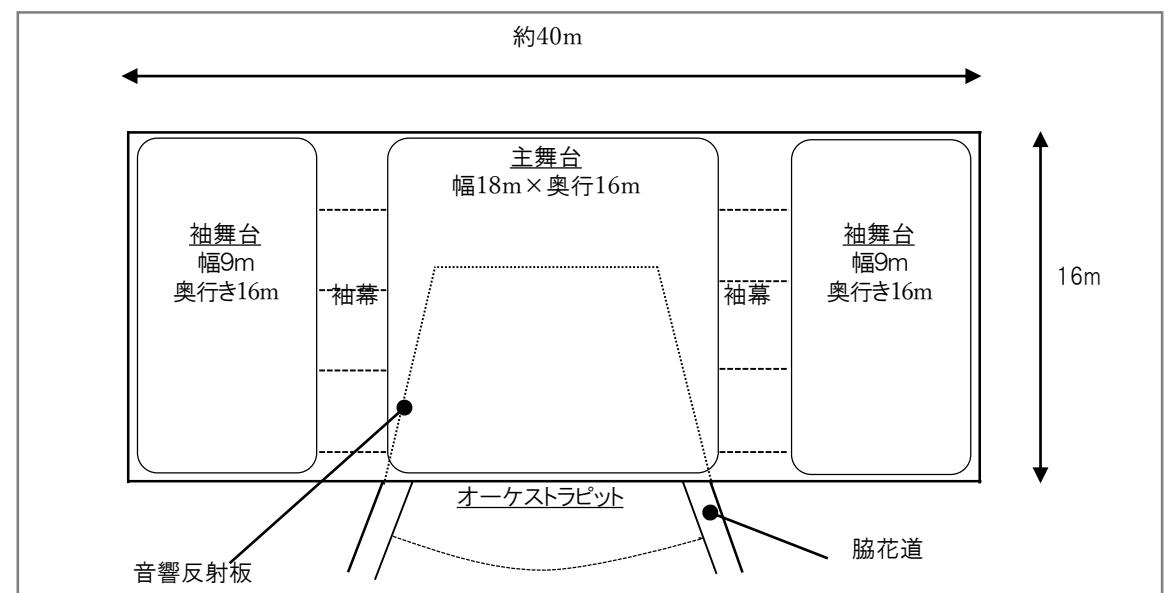
2 施設構成

(1) 鑑賞・発表機能

ホール

機能	想定される主要諸室等
客席	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収容人数は使い勝手に配慮し、1,000席程度（2層）とし、催し物の規模に合わせて少人数でも利用しやすくなるよう工夫します。 ・ どの客席からも舞台が良く見える配置とし、良好な鑑賞条件を確保します。 ・ ゆとりのある客席寸法とし、障害のある人や親子での利用にも配慮したものとします。 ・ 遮音性能に配慮し、催しものに応じて残響時間を調整できるよう工夫をします。 ・ オーケストラピットに対応できるように客席の一部を取り外し可能とします。 ・ 催しに応じて持込機材（音響調整卓、調光操作卓等）が設置できるように計画します。
ホワイエ	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホール満席時においても対応可能な十分な滞留スペースを確保します。 ・ 十分な数の客用トイレと多機能トイレを設け、利用者の待機スペースについても配慮します。 ・ 来場者が利用できるクロークやロッカーの設置を計画します。 ・ ホワイエまでの動線は、高齢者、障害のある人、子ども等に配慮した計画とします。 ・ ホールが利用されていない時にも開放し、市民等の交流の場となるよう、来館者が日常的に利用できるように工夫します。

機能	想定される主要諸室等
舞台	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な利用に応じて舞台間口を可変できるプロセニウム形式を採用します。 ・ 様々なジャンル、演目に対応できる十分な広さの舞台を設け、十分なすのこ高さを確保します。 ・ クラシック音楽のような生音の演奏にも配慮し、音響反射板を設置します。 ・ 舞台袖は、搬出入のしやすさや出演者の待機場所、設備スペース等に配慮し、上手・下手ともに十分な広さを確保します。 ・ オーケストラ演奏のある演目や、張出舞台利用に対応するため、オーケストラピット迫りを設置します。 ・ サイドステージを脇花道としても利用し、多様な演出に対応可能とします。 ・ 舞台下に奈落を設けることで自由な位置に切穴を設けられる計画とし、必要に応じて大迫り・小迫りを備える等、多様な演出に対応可能なものとします。 ・ 様々な催しものに対応可能な舞台特殊設備を備え、多様な公演が可能な計画とします。
楽屋	<ul style="list-style-type: none"> ・ 催しものの規模に応じて使える複数の楽屋を確保します。 ・ 舞台との往来に配慮した配置とします。 ・ 楽屋エリアに上演団体のスタッフのための控室を設けます。 ・ 楽屋事務室、楽屋ロビー、トイレ、シャワールーム、給湯室、楽屋倉庫等を設けます。 ・ 大楽屋は練習室や会議室との兼用を想定した仕様とし、動線を確保します。
搬入口	<ul style="list-style-type: none"> ・ 興行イベント等の大きな催しにも対応できるように11tトラック2台が駐車でき、雨天時においても搬出入作業が可能な計画とします。 ・ 舞台へのスムーズな搬出入が可能な配置とします。 ・ 搬出入経路となる廊下や荷物の一時集積場所となる荷捌きスペースは、十分な広さを確保します。 ・ 搬入口が舞台と異なる階になる場合は、搬入用大型エレベーターを設置します。
倉庫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 舞台大道具が収納可能な十分な広さの大道具倉庫を設置します。大道具倉庫は舞台との動線に配慮した位置に設置します。 ・ ピアノ庫は温湿度環境に十分に配慮するとともに、舞台との往来に配慮した配置計画とします。



舞台構成（案）イメージ

新たな文化施設基本計画（素案）に係る施設計画について

(2) 創造支援機能

機能	想定される主要諸室等
リハーサル室 (小劇場機能)	<ul style="list-style-type: none"> ホールの主舞台と同程度（音響反射板を設置した際の規模）の面積と十分な天井高さを確保し、遮音性にも配慮します。 市民の発表やリハーサルのほか、小規模の演劇公演等にも対応可能な舞台設備やスタッフ控室を計画します。 公演利用時の収容人数は最大200人程度とします。 市民の発表や小規模の演劇公演等で本番利用する際は、スタッフ控室のほかに、ホールの楽屋や練習室を楽屋として転用することで対応します。 リハーサル等の利用がない場合は、会議室やホールの楽屋として利用可能な計画とします。 ホールとの同時利用を考慮し、ホールエリアと交差しない動線計画とします。 リハーサル室での催しものに配慮し、専用の搬入口を設けます。搬入口は4tトラックが駐車可能なスペースを確保し、搬出入が容易にできるよう、動線に配慮した配置とします。
練習室	<ul style="list-style-type: none"> 市民が日常的に利用できるよう複数の練習室を用意します。 小規模な練習や演劇、アンサンブル等で利用可能な規模の練習室を設けます。 電子楽器の練習にも対応可能なよう防音や遮音性能に配慮した計画とします。 ホールやリハーサル室の楽屋としても利用できるようホールの舞台との往來に配慮した計画とします。

(3) 交流促進機能

機能	想定される主要諸室等
エントランスロビー	<ul style="list-style-type: none"> 小規模なミーティング等で利用できるよう椅子やテーブル等を設置し、市民や観光客が自由に過ごせる市民交流スペースを計画します。 長崎市の芸術文化の情報収集、観光情報等を集積した情報ラウンジ機能を設け、地域の文化活動等を通じた交流の場のほか、日常的に市民や観光客が気軽に利用できる場として計画します。 ミニコンサートや展示利用等、市民活動で利用できる広さや設備を計画します。 リハーサル室で催しを行う際に、観客の待機スペースとして利用できる空間とします。
屋外空間	<ul style="list-style-type: none"> 日常的に人が集まるような広場を整備します。 イベントが開催できる広さや設備を計画します。

(4) その他機能

機能	想定される主要諸室等
その他の機能	<ul style="list-style-type: none"> 施設全体の維持管理、諸室貸出等を行う、管理事務室を設置します。 管理事務室は、管理運営スタッフの執務スペースや受付機能、利用者打ち合わせの諸室を設けるとともに、来館者が訪れやすい開かれた諸室とします。 子どもや乳幼児を連れた来館者も気軽に施設を利用できるようキッズスペースや授乳室を計画します。 市民及び市民団体、事業に係る団体やサポーター団体等が利用できるスペースを検討します。 新たな文化施設の敷地内に、障害者用駐車場・関係者用駐車場を設けます。利用者用駐車場は、敷地面積の条件等から敷地内に設けることが難しいため、周辺の公営駐車場や民間駐車場を活用することとします。バスへの対応については、敷地内に一時停車・乗り降りスペースを計画することを検討します。 大規模災害発生時に状況によっては、帰宅困難者（観光客等）を受け入れることも想定して、一時滞在場所や災害物資の集積場所として利用できるスペースとしても検討します。

【各機能の連携図】

施設構成に基づいた施設のレイアウトと動線についての考え方の概略を以下に示します。

